

標 題 : Salad vegetable dietary pattern protects against HER-2-positive breast cancer : A prospective Italian study  
サラダ野菜食事パターンは HER-2 陽性乳癌を予防する : イタリア人の追跡研究

---

著 者 : M. Sant , et al. (イタリア IRCCC 予防医学部)

---

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 121: 911-914 (2007)

---

要 旨 : 食事と乳癌の関連を調査する研究は相反する結果を生じた。  
乳癌リスクと関連する食事要因は癌を察生させる HER-2 状態に別々に影響するとの仮説を我々はたて、ORDET 追跡研究のデータを解析してこの仮説を研究した。

イタリアのパレーゼ州在住の女性ボランティア 8,861 人を我々は解析して完全なデータを得た。

2001 年 12 月 31 日までに HER-2 状態が知られた 238 症例が発症した。

4 つの食事パターンを要因解析によって以前に確認した : サラダ野菜 (生野菜およびオリーブ油の高い摂取)、賢明な (調理野菜、鶏肉、魚)、西欧 (ポテト、肉、卵、バター)、および食堂 (パスタ、トマトソース、ワイン)。

我々の研究で、食事パターン要因(3 段階)によって HER-2 陽性または HER-2 陰性の乳癌を発症する相対リスク(RR)を多項ロジスティック回帰で評価した。

サラダ野菜の食事パターンは HER-2 陽性の癌に対し予防作用を有し(RR=0.25、95%CI 0.10-0.64、最高 3 段階、P 動向 = 0.001)、HER-2 陰性の癌( $P \cdots = 0.039$ )よりも強力であった。

サラダ野菜の食事パターンが主に特定の乳癌サブタイプを予防するという重要な発見は、環境 / 食事危険因子に関する将来の研究は乳癌表現型の不均一性を考慮すべきと示している。

キーワード : 乳 癌、食事パターン、HER-2

---